

	該当箇所	ページ数	委員意見	事務局回答	
1	当日質問	基本構想(案)	p4	「大阪の中でも河内長野が一番強いのは？」「地盤」というのが10年後も同様な状況なのだろうか。気になっている。	地盤の強さの根拠について、QR等により、説明を追加します。なお、前半部分すべてのQAについて、出典を明確にしながら根拠を説明します。また、説明については、本編の文字を増やせず、簡単に参照できるよう、QRコード等でアクセスできる仕組みを整える予定です。
2	当日質問	基本構想(案)	p4	安心して住めるまち、について、今の話をしているのか、今後もそうありたいという話なのか、どういう意図なのかかわからない。	第一部(前半)では、これまで河内長野市が培ってきた魅力を確認しています。もちろん、今後も継続して維持したいという意志も含んでおり、今後、デザインやイラストにより、わかりやすい構成に努めます。
3	当日質問	基本構想(案)	p6	「道のそばでにぎわっているのは？」「道の駅」のQAが他と比較してただのクイズのようになってしまっているので、別の問の建て方が良いのではないかと。	検討します。
4	当日質問	基本構想(案)	p7	「心地よいつながり」というのが他と比較して概念的である。それ以外はデータに基づいた現状の説明があったが、「心地よいつながり」の根拠があれば教えてほしい。	市民ワークショップや地域意見交換会、職員ワークショップ等から、「つながり」に関するご意見が多く収集されたことを根拠としています。
5	当日質問	基本構想(案)	p8	「河内長野の歴史は？」に対する回答を「1000年」とするのはミスリードではないか。言い切るとフェイクになるため「1000年を超える悠久の歴史」などの表記してほしい。	わかりやすく伝わる表現として、「千年」と漢数字で表記する方向で検討します。また、QR等の説明により、ミスリードを防ぎます。
6	後日メール	基本構想(案)	p10	「深呼吸したくなるような」は「深呼吸したくなる」でよいのではないかと。「ような」に意味があるならそのままでよいかと。	検討します。
7	後日メール	基本構想(案)	p10	「ホテルも子どもたちも光ってる」について、ホテルが唐突である。前半部分(例えばP5の、きれいな水の部分)で掲載するのはどうか。	自然環境が豊かであり、子どもたちが自然に触れ合っているという場面の象徴として「ホテル」や「子どもたち」といった言葉を用いています。また、ホテルが、やや富栄養な水質を好み、湧き水のように綺麗過ぎず、また汚れ過ぎない水環境に生息していることにも留意しています。
8	後日メール	基本構想(案)	p11	「揺るがない安全と安心感」の説明文2行目の後半に「土砂崩れなどの災害対策や～」とあるが、そのままでは「土砂崩れ」が災害対策と読めるため、「土砂崩れなどの災害への対策や～」や「土砂崩れなどの災害への備えや～」の方がよいのではないかと。	「土砂崩れなどの災害への対策や～」に修正します。
9	当日質問	基本構想(案)	p13	「地域がまるごと学校」について、後半の「子どもたち自身も・・・伝えれば、立派な先生に。」という表現は、子どもに対して条件を与え、条件をクリアする子に褒美を与えるように読み取れ、教育的な観点でふさわしくない。また、「伝えれば」とあるが、障がいなどで「伝える」ことが難しい子どももいることから、配慮してほしい。「立派な先生に」とあるが、みんなが先生になる必要があるのか。押し付けがましいと感じる。	「地域がまるごと、学校」を、学校教育に特化したコピーとし、「学びを、誰かの喜びに。」を生涯学習や地域教育に特化したコピーとする方向で、教育委員会と調整しながら、表記を検討します。
10	当日質問	基本構想(案)	p13	(教育長)市民の意見は個人の思いであるため、どこまで尊重するのが難しいところである。教育関連のところでは、「子どもたち自身も立派な先生に」のQAで何が表現したいのかわかりにくい。「誰もが教える人になれる」ということを目指しているのか。生涯学習の観点では、誰が誰を教えるもよい。「子どもたち自身も」の表現を変えてほしい。	同上です。
11	当日質問	基本構想(案)	p14	「サクセスフルな、サステナブル。」の説明文に、「全国トップレベル」とある。施策によって改善するとも言い難い数字であるため、表記されると担当課としては難しいところがある。	環境を含み、社会インフラ(道路や公園など)、農業、自治会活動や行財政運営など、「維持・継続が求められる事業等としっかりと向き合っていく」という方向性で、担当課と調整しながら、表記を検討します。
12	後日メール	基本構想(案)	p15	「慌ただしい日々の中で失った時間を取り戻し」について、慌ただしくも豊かな時間を過ごしている人もいることから、「失った時間を取り戻し」は削除してはどうか。	河内長野に流れるゆっくりとした時間との対比として、そのまま残したいと考えています。
13	後日メール	基本構想(案)	p15	「新しい農業の担い手…」部分について、既存の農家さんも地産地消に取り組んでくれている。10年後も関わっていただいている方々なので、新しい担い手だけでなく、既存の担い手も力を掛け合わせて…と受け止められるようにしてほしい	「農業の担い手」と修正します。
14	当日質問	基本構想(案)	p15	10年後の目指す姿として「カレー」というのはどうなのか。基本計画の中で具体的な施策としてカレーが出てくるのは良いが、他の目指す姿とトーンが異なるのが気になる。キャッチフレーズ自体を大きく考え直してほしい。	決して「カレー」を特産品として位置付けたいということではなく、「地産地消」「健康」「食育」「農業との連携」等の象徴として具体的なイメージを持たせるため、市民ワークショップで出た「カレー」という言葉をキャッチーなコピーとして活用しており、そのまま残したいと考えています。
15	当日質問	基本構想(案)	p15	(教育長)給食について、「地産地消」「日本一美味しいカレー」と何を言いたいのか曖昧であるように感じる。別の指摘にもあったが、他とトーンがぶれているように感じるのと、整理してほしい。やると思っていることを書くというように整理すればレベル感が揃うのではないかと。	同上です。
16	当日質問	基本構想(案)	全体・p15	10年間の計画なので、後から見たときに「古臭い」と感じられないデザイン・言葉遣いにしてほしい。「推し」という言葉は、数年たった時に見ると古く感じるのではないかと。長期間にわたって使うことを意識してデザインしてほしい。	検討します。
17	当日質問	基本構想(案)	全体	漢字とひらがなの使い分けについて、使い分ける理由がわからないところがある。例えば、「さまざまな」「ゆたかな」など。漢字とひらがなの使い方を整理した方がいいのではないかと。また、かたい表現とやわらかい表現が混在している。タイトルはやわらかめで、説明はかためのように見えるが、説明の中でも「いっぱい」という表現や「多くの」という表現があるので、整理してほしい。また、全体的に第一部(前半)と第二部(後半)の文章トーンが違う。統一感が出るようにしたらよいと思う。前半がやわらかく、後半がかたい印象を受ける。	コピーとしての「キャッチーさ」や「目にとまりやすさ」、語感やリズムなどを重視しています。また、前半と後半のトーンの差については、「河内長野のいま(=現状)」を伝える前半と、「河内長野のこれから(=10年後の市のありたい姿)」を伝える後半は、位置付け等が異なることからトーンを変えています。なお、読み物として、全体的な流れやストーリーに統一感があるか、矛盾や不自然な点がないか改めて確認します。
18	当日質問	基本構想(案)	全体	(副市長)全体的に、子ども・学校にはフォーカスが当たっているが、高齢者・障がい者が読み取りづらい。河内長野では、高齢者の割合が高い状況が続くので、高齢者について読み取れるものであればよい。	今回は、高齢者を特定する表現を避け、広く多世代を表す表現を心がけています。高齢者施策については、「好きなときに、好きなところへ。」や「みんなが、主役。みんなが、ファン。」「支えて、支えられて、支え合って。」のコピーと説明文で意識しています。なお、「好きなときに、好きなところへ。」については、高齢者の移動手段確保を主眼に置いた内容としています。
19	後日メール	基本構想(案)	全体	高齢者や保健、福祉へのアプローチが弱いと感じている。未来志向で言うと、「高齢者をはじめ、誰もが、生きがいを持って、いきいきと暮らせる」といったメッセージは、ウェルビーイングの施策展開にもつながりやすいのではないかと。また、「不幸にならない」という視点を入れていただくと、保健や福祉といった施策に繋げやすいのではないかと。	上記と同様、多くのメッセージがウェルビーイングを推進する施策に紐づくと考えています。
20	当日質問	計画全体		総括について、前回総計を振り返った上で、目指す姿を考えないといけないのではないかと。	総括については、既に各課に照会しました。また、基本構想で示した理想に対し、理想を実現するために必要な施策については、今ある課題と照合し、次年度に策定する基本計画に落とし込んでいきます。
21	当日質問	地域別計画		今後、市議会に対して、地域別計画を作成しない理由を説明しなくてはならないのではないかと。	市議会に対しては、昨年度の協議会で「市主体で計画を策定する」旨を伝えており、今後も必要に応じて丁寧に説明していくこととします。なお、今回、地域別計画を作成しないこととされていますが、地域を軽視するということではなく、地域意見交換会(2回)を実施し、地域のお声も集約し、できる限り反映させたいと考えています。
22	当日質問	事業評価重点施策		感情に寄り添った形の基本構想になっているが、事業評価において、どのように市民の実感を評価するのか。感情的な部分をどのように評価するか検討しなくてはならないのではないかと。重点施策にどのようにつながるのかも気になる。	基本構想では、10年後の「市のありたい姿」を示し、その姿を実現するために必要な施策については、基本計画において示します。10年後の「市のありたい姿」を市民と共有できるよう、Value部分についても基本計画で整合がとれるように検討していくこととします。
23	当日質問	重点施策		市民アンケートについて、男女でクロスをとっているが、年齢別の分析もあつたらよい。重点施策を出す中で、根拠となるデータがあればよいと思う。年齢別でも、50代と60代では傾向が違うと思う。もっと分析してほしい。	年代別に見ると、10代の回答数は2、20代は8、30代は34、40代は23、50代は38、60代は82、70代は175、80代は60、90代以降は4、という回答数となっています。年代ごとの回答数に偏りがあり、年代別の傾向を見るにはサンプル数が不足しています。地区別についても同様であり、サンプル数が不足しているため分析が難しい状況です。
24		計画全体	全体		(質問全体に対して)総合計画の自由度が高まっている中、基本構想部分はできる限り、まちの目指す姿が市民に伝わるよう、読みやすく、市民自身が考えることに繋がるものにしてほしいと思っています。そのことから、文章はかたくなく、読んで「なるほど」と思える文を添えたつもりです。修正を繰り返してこの資料になっています。キャッチコピーは、「どういう意味？」と思うところは多少出てきます。わかりにくいと思うところもありますが「キャッチーさ」や「インパクト」を重視しているところもあります。給食のカレーについても、単に給食のカレーが美味しくなればよい、ということではなく、それまでの過程にある農業とのつながりなど、多様な要素が必要で、カレーという言葉を使ったのは、そのような点を重視しているからです。今後も、ご意見を参考に修正してまいります。そういった狙いがあるということをご理解いただきたいと思います。なお、基本計画は、具体的な施策をしっかりと検討し、ある程度かたい内容で作る予定です。